

『辰』に由来する植物

2024/1/10 自然環境部 陸域担当チーム 森山 友雄

みなさま、あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年2024年は辰年ですね。そこで今回は特別号
といたしまして、辰（竜、ドラゴン）にちなんだ
植物のうち、人に役立っているものを中心にいく
つか紹介したいと思います。

▶ リンドウ（別名（生薬名）：竜胆）

本州、四国、九州に分布する。竜の胆のように苦
いといわれ、生薬名は竜胆と名づけられました。
唾液や胃液の分泌を促して、消化の働きを増進さ
せる効果があります。



写真はエゾリンドウ
撮影：エコニクス

▶ リュウノウギク（漢字名：竜腦菊）

本州(福島県以西)、四国、九州に分布する日本固有
種。茎や葉の香りが竜腦樹から採る香料「竜腦」
に似ていることからついた名前。秋に全草を採取
し、乾燥させたものを風呂に入れて入浴すると、
血液循環が良くなり、冷え症や腰痛などに良いと
されます。

▶ キンミズヒキ（別名（生薬名）：竜牙草）

北海道から九州に分布する。タデ科のミズヒキに
似ていて花が黄色なのでつけた名前。全草にタン
ニンを含んでおり、止血薬・下痢止めなどに良い
とされています。

▶ リュウノヒゲモ

日本全国に分布し、淡水または河口近くの汽水域
に生育する沈水性の水生植物です。全体的に長く、
細長い葉の形が「竜のひげ」に似ているというこ
とで、この名が付けられています。特に人に利用
されていませんが、水鳥が餌としているようです。
環境省のレッドリスト2020では、準絶滅危惧(NT)
に選定されており、生育環境の埋め立てや悪化に
より減少傾向にあります。



写真はリュウノヒゲモ
撮影：エコニクス

▶ ドラゴンフルーツ（漢字名：火龍果）

別名ピタヤ。熱帯アメリカでは数属のサボテン類
を総称してピタヤといい、果実が竜のうろこのよ
うな果皮をしているものをドラゴンフルーツと呼
びます。乾燥地帯のサボテンとは違い、ジャング
ルで木に抱きつくように伸びるつる植物です。国
内では沖縄県や鹿児島県などで栽培されています。
南国のイメージがありますが、丈夫で手間がかか
らないため、家庭でも工夫すれば、結実できるよ
うです。今年は辰年。ドラゴンフルーツの栽培に
チャレンジしてみるのも良いかもしれませんね。

『辰』という文字は草木が生長して形が整う状態
を表すと解釈されることから、『辰年』は活力旺
盛になって大きく成長し、形が整う年だとされて
います。今年の干支が示すように、「努力が実り、
夢が叶う。」そのような年になるといいですね。

[1]薬草に親しむ <https://www.eisai.co.jp/museum/herb/familiar/dragon.html>

[2]木のぬくもり・森のぬくもり <https://www.jugemusha.com/index.html>

[3]趣味の園芸 https://www.shuminoengei.jp/m-pc/a-page_p_detail/target_plant_code-949

[4]マイナビ農業 https://agri.mynavi.jp/2020_05_07_117551/